

## ■全国研究部門等の活動紹介■

### 養護教諭部会

増田 かやの

#### 1 部会の構成・運営とおもな活動

本部会は、「国立大学附属学校園に在籍する養護教諭の資質向上を図るとともに、全国的視野に立って、子どもの生涯を展望した学校保健の充実・発展に寄与する」ことを目的に、1962年より組織的な活動を行っている。会員は全都道府県にわたり、現在259名である。

毎年、全国国立大学附属学校連盟養護教諭部会との共催で、研究協議会並びに総会を開催し、全国の国立大学附属学校園の養護教諭の研鑽の場となっている。また、北海道、東北、関東、北信越、東海、近畿、中国、四国、九州の9地区に分かれ、地区ごとにも活動を行っている。

本部会は、全国的な組織であること、かつ会員が全校種であることを特徴とし、普遍的な学校保健の使命や養護教諭の職務、子供の現代的な健康課題等をテーマに、3年から5年の研究計画を立て、継続的に研究を行っている。

毎年開催している研究協議会では、会員個人または団体の研究を口頭で3題発表する。加えて、全体研究では、参加者全員が発言し研究を創り上げていくと同時に研修としても有意義なものであることを目指し、情報交換だけでなく、実務の上で役立つ知見を共有する場として分科会及び班別協議を設定している。

毎年発刊している研究集録（現在、第53集まで刊行）では、上記の成果とともに、各地区から研究4題を募り、誌上掲載する。

#### 2 2018年度の活動より

昨年度は、和歌山大学教育学部ご協力のもと、全国大会を和歌山市で実施した。

主 題 「人間性豊かで心身ともにたくましい子どもの育成をめざして」

開催期間 平成30年8月9日（木）～8月10日（金）

会 場 ホテルアバローム紀の国

主 催 日本教育大学協会養護教諭部会

全国国立大学附属学校連盟養護教諭部会

主管 和歌山大学教育学部附属学校養護教諭部会

後 援 文部科学省

日本教育大学協会

全国国立大学附属学校連盟

内 容

##### I 特別講演

講 師 和歌山大学教育学部教授 本山 貢 先生

演 題 「体力と学力の向上を目指した養護教諭の役割と責務」

## II 文部科学省講演

講師 文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課健康教育調査官 松崎 美枝 先生  
演題 「養護教諭の資質向上を目指して」

## III 研究発表

- (1) 子どもの学びを深める授業づくりとはー養護教諭の専門性と役割を考えるー  
福井大学教育学部附属義務教育学校前期過程 水野 恭子 先生
  - (2) 養護教諭の専門性を活かした横断的学習の試みー保健と道德の繋がりに着目してー  
静岡大学教育学部附属静岡小学校 渡邊 睦美 先生
  - (3) 幼稚園から小学校への円滑な接続を目指す援助の在り方  
ー連携を生かした食に関する取り組みを通してー  
福岡教育大学附属幼稚園 吉永 直美 先生
- 指導助言：和歌山大学教育学部附属特別支援学校校長 林 修 先生

## IV 研究プロジェクト

現在、全体テーマとして「学校保健に働きかける力 ～養護教諭からの発信～」を掲げ、4年計画の研究プロジェクトを進めている。2018年度は、校種別に4つの分科会を設定し、実際に養護教諭が行っている教育実習生対象の学校保健講話についての話題提供と、会員を対象とした学校保健に関するアンケートの結果の分析を行った。このふたつから養護教諭が学生や教職員に伝えたい学校保健の知見を精査・検討した。

## V 総会

- ・2018年度決算並びに2019年度予算審議
- ・2018年度活動報告並びに2019年度活動計画審議

## 3 今後への展望

全国大会は、会員が参加しやすい8月上旬に設定される。その準備期間は、健康診断等の職務に多忙な日々と重なる。その中で、全国の会員・地区理事・常務理事の力を結集して手作りの大会運営を行っている。その根底には、養護教諭の職務にこだわり、現場の養護教諭ならではの視点を生かした学校保健の推進をはかり、子どもたちの健康の保持増進に繋げようとする力がある。今後も全国の附属学校の組織力を生かして、会員相互に学びあいながら、養護教諭の研究団体として諸地域の学校、教員養成課程、現職教員研修等へ、成果を発信し続けて行く所存である。日本教育大学協会並びに関係各所におかれては、引き続きのご支援ご鞭撻をお願いする次第である。

(お茶の水女子大学附属高等学校 養護教諭)